



●木版画・安井寿磨子、
装幀・緒方修一による美しい造本です

●巻末に作品の背景がわかる
「人と作品」を収録

●大きな文字で読みやすい本文(15級)

読者からの反響続々!
こんなふうに読まれています。

図書室に百年文庫コーナーを作ったところ、生徒たちがよく手にとって眺めていきます。持ち帰るにもちょうど良い大きさ・重さで、1冊ずつ継続して借りていっているようです。(学校図書館司書)

『憧』『心』『夢』を選び、知人のお子さんの新入学のお祝いにプレゼントしたら喜ばれました。(30代女性)

手に収まるサイズで、栞紐が付いているので電車の中での読書に重宝しています。毎日読むことで生活に潤いが生まれた気がしています。現在15巻まで読破しました。(50代男性)

懐かしい作家たちの作品にもう一度出会えて、少女のようにわくわくしながら読んでいます。高齢の私には大きな文字であることも有難いです。(80代女性)

朝読の時間に生徒たちが楽しんで読んでいます。短篇で読みやすく、読書でもちょっと背伸びをしたい中学生にはぴったりです。タイトルの意味を生徒同士で話し合ったりしている姿もちらほら見かけます。卒業までに全巻読破を目標にしている生徒もいます。(中学校教員)

いまでは入手困難になっていた作家の作品が収録されていて嬉しいです。(50代女性)

今読んでも新しさを感じる作品が多く、作家の感覚の鋭さに驚きました。(10代男性)



(第1期セット)
1巻～50巻は化粧箱入り!

キリトリ線

セット名	セット定価:本体 税別	ISBN 978-4-591	ご注文	取扱い書店印
百年文庫 第1期(1~50巻)セット	37,500円	91193-8	セット	
百年文庫 第2期(51~70巻)セット	15,000円	91256-0	セット	
百年文庫 第3期(71~100巻)セット 2011年10月発売	22,500円	91265-2	セット	
ご芳名(学校・図書館)				
ご住所				
電話番号	備考	お申込日 月 日		

※必要事項をご記入のうえ、当店へお渡しく下さい。※お客様のご芳名・ご住所などの個人情報はこの書籍をお届けするためのものです。
ポプラ社 〒160-8565 東京都新宿区大京町22-1 振替00140-3-149271 受注専用フリーダイヤルFAX 0120(53)6188 受注センター TEL03(3357)2211/FAX03(3359)2359
販売局 TEL03(3357)2212/FAX03(3359)2647 百年文庫ホームページ <http://www.poplar.co.jp/hyakunen-bunko/>

名短篇が、ずらり。 百年文庫

1冊で3人の文豪の傑作が読める、
日本と世界の名短篇アンソロジー



大きな文字で読みやすく。



2011年10月
100巻
完結!

ポプラ社

各巻定価 788円(税込)
各巻: 四六変型判 186×112mm ソフトカバー/各巻: 144~208頁
装画 安井寿磨子/装幀・題字 緒方修一

100巻で300人の文豪と出会える――

「百年文庫」収録作品

第1期 1巻～50巻

太宰治の青春名篇、川端康成の異色作、ドストエフスキーの知られざる傑作まで。

- 憧** 太宰治『女生徒』 ラディゲ『ドニイズ』
久坂葉子『幾度目かの最期』
- 絆** 海音寺潮五郎『善助と万助』 コナン・ドイル『五十年後』
山本周五郎『山椿』
- 昼** 林芙美子『馬乃文章』 獅子文六『ある結婚式』
山川方夫『軍国歌謡集』
- 秋** 志賀直哉『流行感冒』 正岡容『置土産』
里見弴『秋日和』
- 音** 幸田文『台所のおと』 川口松太郎『深川の鈴』
高浜虚子『斑鳩物語』
- 心** ドストエフスキー『正直な泥棒』 芥川龍之介『秋』
プレヴォー『田舎』
- 闇** コラッド『進歩の前哨基地』 大岡昇平『暗号手』
フロベール『聖ジュリアン伝』
- 罪** ツヴァイク『第三の鳩の物語』 魯迅『小さな出来事』
トルストイ『神父セルギイ』
- 夜** カポーティ『夜の樹』 吉行淳之介『曲った背中』
アングスン『悲しいホルン吹きたち』
- 季** 円地文子『白梅の女』 島村利正『仙酔島』
井上靖『玉碗記』
- 穴** カフカ『断食芸人』 長谷川四郎『鶴』
ゴーリキイ『二十六人とひとり』
- 釣** 井伏鱒二『白毛』 幸田露伴『幻談』
上林暁『二閑人交游図』
- 響** ヴァーグナー『ベートーヴェンまいり』
ホフマン『クレスベル顧問官』 ダウソン『エゴイストの回想』
- 本** 島木健作『煙』 ユザンヌ『シジスモンの遺産』
佐藤春夫『帰去来』
- 庭** 梅崎春生『庭の眺め』 スタインバック『白いウズラ』
岡本かの子『金魚撩乱』
- 妖** 坂口安吾『夜長姫と耳男』 檀一雄『光る道』
谷崎潤一郎『秘密』
- 異** 江戸川乱歩『人でなしの恋』 ビアス『人間と蛇』
ポー『ウィリアム・ウィルスン』
- 森** モンゴメリー『ロイド老嬢』
ジョルジュ・サンド『花のささやき』 タゴール『カプリワラ』
- 里** 小山清『朴歯の下駄』 藤原審爾『罪な女』
広津柳浪『今戸心中』
- 掟** 戸川幸夫『爪王』 ジャック・ロンドン『焚火』
バルザック『海辺の悲劇』
- 命** シュトルム『レナ・ヴィース』
オー・ヘンリ『最後の一葉』 ヴァッサーマン『お守り』
- 涯** ギヤスケル『異父兄弟』 パヴェーゼ『流刑地』
中山義秀『碑』
- 鍵** H・G・ウェルズ『塙についたドア』 シュニッツラー『わかれ』
ホーフマンスタール『第六七二夜の物語』
- 川** 織田作之助『螢』 日影丈吉『吉備津の釜』
室生犀星『津の国人』
- 雪** 加能作次郎『母』 耕治人『東北の女』
由起しげ子『女中ツ子』

- 窓** 遠藤周作『シラノ・ド・ベルジュラック』
ピランデルロ『よその家のあかり』ほか 神西清『恢復期』
- 店** 石坂洋次郎『婦人靴』 椎名麟三『黄昏の回想』
和田芳恵『雪女』
- 岸** 中勘助『島守』 寺田寅彦『団栗』ほか
永井荷風『雨瀟瀟』
- 湖** フィッツジェラルド『冬の夢』 木々高太郎『新月』
小沼丹『白孔雀のいるホテル』
- 影** ロレンス『菊の香り』 内田百閒『とおぼえ』
永井龍男『冬の日』
- 灯** 夏目漱石『琴のそら音』 ラフカディオ・ハーン『きみ子』
正岡子規『熊手と提灯』ほか
- 黒** ホーソーン『牧師の黒のベール』
夢野久作『けむりを吐かぬ煙突』 サド『ファクスランジュ』
- 月** ルナル『フィリップ一家の家風』 リルケ『老人』
プラトーノフ『帰還』
- 恋** 伊藤左千夫『隣の嫁』 江見水蔭『炭焼の煙』
吉川英治『春の雁』
- 灰** 中島敦『かめれおん日記』 石川淳『明月珠』
島尾敏雄『アスファルトと蜘蛛の子ら』
- 賭** スティーヴンスン『マークハイム』
エインズワース『メアリ・スチュークリ』 マーク・トウェイン『百万ポンド紙幣』
- 駅** ヨーゼフ・ロート『駅長ファルメライアー』
戸板康二『グリーン車の子供』 ブーシキン『駅長』
- 日** 尾崎一雄『華燭の日』ほか 高見順『草のいのちを』
ラム『年金生活者』ほか
- 幻** 川端康成『白い満月』 ヴァージニア・ウルフ『壁の染み』
尾崎翠『途上にて』
- 瞳** ラニアン『ブロードウェイの天使』
チェーホフ『子供たち』 モーパッサン『悲恋』
- 女** 芝木好子『洲崎パラダイス』 西條八十『黒縮緬の女』
平林たい子『行く雲』
- 夢** ポルガー『すみれの君』 三島由紀夫『雨のなかの噴水』
ヘミングウェイ『フランシス・マカンパーの短い幸福な生涯』
- 家** フィリップ『帰宅』ほか 坪田譲治『甚七南画風景』
シュティフター『みかげ石』
- 汝** 吉屋信子『もう一人の私』 山本有三『チョコレート』
石川達三『自由詩人』
- 地** ヴェルガ『羊飼イエーリ』 キロガ『流されて』
武田泰淳『動物』
- 宵** 樋口一葉『十三夜』 国木田独步『置土産』
森鷗外『うたかたの記』
- 群** オーウェル『象を射つ』 武田麟太郎『日本三文オペラ』
モーム『マッキントッシュ』
- 波** 菊池寛『俊寛』 八木義徳『劉廣福』
シェンキェヴィチ『燈台守』
- 膳** 矢田津世子『茶粥の記』ほか 藤沢桓夫『茶人』
上司小剣『鱧の皮』
- 都** ギッシング『くすり指』 H・S・ホホワイトヘッド『お茶の葉』
ウォートン『ローマ熱』

第2期 51巻～70巻

『ニルスのふしぎな旅』のラーゲルレーヴ、宮沢賢治、アンデルセンなども収録。

- 星** アンデルセン『ひとり者のナイトキャップ』
ビョルンソン『父親』 ラーゲルレーヴ『ともしび』
- 婚** 久米正雄『求婚者の話』 ジョイス『下宿屋』
ラードナー『アリバイ・アイク』
- 街** 谷譲次『感傷の靴』 子母澤寛『チコのはなし』
富士正晴『一夜の宿・恋の傍杖』
- 巡** ノヴァーリス『アトランティス物語』 ベッケル『枯葉』
ゴーチエ『ボンベイ夜話』
- 空** 北原武夫『聖家族』 ジョージ・ムーア『懐郷』
藤枝静男『悲しいだけ』
- 祈** 久生十蘭『春雪』 チャベック『城の人々』
アルツィバーシェフ『死』
- 城** ムシル『ポルトガルの女』 A・フランス『ユダヤの太守』
ゲーテ『ノヴェレ』
- 顔** ディケンズ『追いつめられて』 ボードレール『気前のよい
賭け事師』 メリメ『イールのヴィーナス』
- 客** 吉田健一『海坊主』 牧野信一『天狗洞食客記』
小島信夫『馬』
- 肌** 丹羽文雄『交叉点』 舟橋聖一『ソンバ売りのお鈴』
古山高麗雄『金色の鼻』

第3期 71巻～100巻

プーレスト、安部公房、トーマス・マンから、ルゴーネスの問題作まで。

- 娘** ハイゼ『片意地娘』 W・アーヴィング『幽霊花婿』
スタンダール『ほれぐすり』
- 蕾** 小川国夫『心臓』 龍胆寺雄『蟹』
プーレスト『乙女の告白』
- 子** 壺井栄『大根の葉』 二葉亭四迷『出産』
葉山嘉樹『子を護る』
- 船** 近藤啓太郎『赤いパンツ』 徳田秋声『夜航船』
野上弥生子『海神丸』
- 鏡** マンスフィールド『見知らぬ人』
野溝七生子『ヌマ叔母さん』 ヘッセ『アヤメ』
- 壁** カミュ『ヨナ』 安部公房『魔法のチョコレート』
サヴィニオ『「人生」という名の家』
- 青** 堀辰雄『麦藁帽子』 ウンセット『少女』
デレッド『コロンバ』
- 贖** 有島武郎『骨』 島崎藤村『藁草履』
ジッド『放蕩息子の帰宅』
- 隣** 小林多喜二『駄菓子屋』 十和田操『判任官の子』
宮本百合子『三月の第四日曜』
- 冥** メルヴィル『バイオリン弾き』 トラークル『夢の国』
H・ジェイムズ『にぎやかな街角』
- 夕** 鷹野つぎ『悲しき配分』 中里恒子『家の中』
正宗白鳥『入江のほとり』
- 惚** 斎藤緑雨『油地獄』 田村俊子『春の晩』
尾崎紅葉『恋山賤』
- 村** 黒島伝治『電報』ほか 葛西善蔵『馬糞石』
杉浦明平『泥芝居』
- 幽** ワイルド『カンタヴィルの幽霊』
サキ『ガブリエル・アーネスト』 ウォルポール『ラント夫人』
- 紅** 若杉鳥子『帰郷』 素木しづ『三十三の死』
大田洋子『残酷点々』

- 倂** 水上瀧太郎『山の手の子』 ネルヴァル『オクタヴィ』
鈴木三重吉『千鳥』
- 嘘** 宮沢賢治『革トランク』ほか 与謝野晶子『嘘』ほか
エロシェンコ『ある孤独な魂』ほか
- 巴** ゾラ『引き立て役』 深尾須磨子『さぼてんの花』
ミュッセ『ミミ・パンソン』
- 劇** クライスト『拾い子』 リラダン『断頭台の秘密』
フーフ『歌手』
- 宿** 尾崎士郎『鳴沢先生』 長田幹彦『零落』
近松秋江『惜春の賦』
- 崖** ドライサー『亡き妻フィービー』 ノディエ『青靴下
のジャン=フランソワ』 ガルシン『紅い花』
- 花** 森茉莉『薔薇くい姫』 片山廣子『ばらの花五つ』
城夏子『つらつら椿』
- 白** 梶井基次郎『冬の蠅』 中谷孝雄『春の絵巻』
北條民雄『いのちの初夜』
- 水** 伊藤整『生物祭』 横光利一『春は馬車に乗って』
福永武彦『廃市』
- 野** ツルゲーネフ『ページンの野』 ドーデー『星』
シラー『誇りを汚された犯罪者』

- 灼** ヴィーヘルト『母』
キプリング『メアリ・ポストゲイト』 原民喜『夏の花』
- 風** 徳富蘆花『漁師の娘』 宮本常一『土佐源氏』
若山牧水『みなかみ紀行』
- 逃** 田村泰次郎『男鹿』 ゴーゴリ『幌馬車』
ハーディ『三人の見知らぬ客』
- 昏** 北條誠『舞扇』 久保田万太郎『きのうの今日』
佐多稲子『レストラン洛陽』
- 怪** 五味康祐『喪神』 岡本綺堂『兜』
泉鏡花『眉かくしの霊』
- 朴** 木山捷平『耳かき抄』 新美南吉『嘘』
中村地平『南方郵便』
- 泪** 深沢七郎『おくま嘘歌』 島尾ミホ『洗骨』
色川武大『連笑』
- 転** コリンズ『黒い小屋』 アラルコン『割符帳』
リール『神様、お慈悲を!』
- 銀** 堀田善衛『鶴のいた庭』 小山いと子『石段』
川崎長太郎『兄の立場』
- 架** 火野葦平『伝説』 ルゴーネス『火の雨』
吉村昭『少女架刑』
- 純** 武者小路実篤『馬鹿一』 高村光太郎『山の雪』
宇野千代『八重山の雪』
- 惜** 宇野浩二『枯木のある風景』 松永延造『ラ氏の笛』
洲之内徹『赤まんま忌』
- 雲** トーマス・マン『幸福への意志』
ローデンバック『肖像の一生』 ヤコブセン『フェーンズ夫人』
- 道** 今東光『清貧の賦』 北村透谷『星夜』
田宮虎彦『霧の中』
- 朝** 田山花袋『朝』 李孝石『そばの花咲く頃』
伊藤永之介『鶯』